

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
子ども英語教材ワークショップ Children's English Educational Materials Workshop		2年	前期	火曜4時限
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	講義		選択 (選択必修(子ども英語ユニット))	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
子どものための教育実習				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
子どものうたとゲームⅠ・Ⅱ、幼稚園・保育英語、児童のための英語				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
堤 裕美子	講義棟3階	木・金 9:00~18:00 (授業時間を除く)	授業中に指示します	
授業の概要				
児童英語の授業で子どもの理解を助ける教材作りを学ぶ。				
授業の到達目標				
①どんな教材があるのかを知ることができるようにする。 ②学習理解を助ける教材を作ることができるようにする。 ③作成した教材を有効に使った授業運営を考えて理解することができるようにする。				
授業の方法				
手作り教材を作成し、実際にそれを使用したレッスンプランを立て、実習を行う。				
学習の成果				
この授業を履修するとあなたは ①子どもが楽しく英語の授業を受けられる様々な教材について詳しくなることができる。 ②教材を自分で手作りすることにより、教材の目的と意義を理解することができる。 ③実習の場で自分が作った教材を使用することで、子どもの学習成果を目の当たりにし、指導者としての素質を磨くことができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス (授業の方針、進め方、評価方法等の説明)			
第2回目	学習テーマに沿った教材作り(1)			
第3回目	学習テーマに沿った教材作り(2)			
第4回目	学習テーマに沿った教材作り(3)			
第5回目	学習テーマに沿った教材作り(4)			
第6回目	学習テーマに沿った教材作り(5)			

第7回目	学習テーマに沿った教材作り(6)		
第8回目	学習テーマに沿った教材作り(7)		
第9回目	季節行事を演出するための教材作り(1)		
第10回目	季節行事を演出するための教材作り(2)		
第11回目	季節行事を演出するための教材作り(3)		
第12回目	イベント演出のための教材作り(1)		
第13回目	イベント演出のための教材作り(2)		
第14回目	イベント演出のための教材作り(3)		
第15回目	まとめと試験 (研究発表と評価)		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		20%	授業内容に対して問題意識をもって聴き、理解しようとする積極的な態度。授業を有意義かつ活性化することに貢献する態度。
レポート			
調査報告書			
小テスト			
中間・学期末試験		30%	事前に与えられた課題の達成度を評価する。
発表内容 (態度含む)		30%	授業内での作品を使った発表や実習の場での発表の場で、子どもが理解しやすい指導を行っているかどうかを評価する。
その他		20%	作成した教材を提出してもらい、学習目標にあった作品として仕上がっているかどうかを評価します。
教科書と参考図書			
授業内で適宜指示、配布する。			
履修上の心得・ルール			
普段から色々な物に関心を向けることによって、配色やデザインに対するセンスも磨きましょう。			